




# アルカリシリカ反応抑制対策

## コンクリート中のアルカリ総量を規制

和光産業(株)鳥取第二工場

(令和7年 8月度)

工場長	品管責任者	試験係
		

[アルカリ総量の計算表]

設計基準強度 18.0—8—20

①	ベースセメントの全アルカリ (%)		0.6
②	単位セメント量(kg/m <sup>3</sup> )	(配合表に示された値)	285
③	1m <sup>3</sup> 当たりのセメント中のアルカリ量(kg/m <sup>3</sup> )	②X①/100	1.710
④	細骨材(陸砂)中のNaCl量%		0.000
⑤	単位細骨材(陸砂)量(kg/m <sup>3</sup> )	(配合表に示された値)	720
⑥	1m <sup>3</sup> 当たりの細骨材(陸砂)中のアルカリ量(kg/m <sup>3</sup> )	0.53X④X⑤/100	0.000
⑦	粗骨材中のNaCl量%		0.000
⑧	単位粗骨材量(kg/m <sup>3</sup> )	(配合表に示された値)	1132
⑨	1m <sup>3</sup> 当たりの粗骨材中のアルカリ量(kg/m <sup>3</sup> )	0.53X⑦X⑧/100	0.000
⑩			
⑪			
⑫			
⑬			
⑭			
⑮			

[計算の結果]

コンクリート1m <sup>3</sup> 当たりの全アルカリ量(kg/m <sup>3</sup> )	③+⑥+⑨	1.710
国土交通省の規制値(kg/m <sup>3</sup> )		3.00以下
判 定		